スマホで住宅ローンの毎月返済額を計算する方法

HypoNaviを使ってスマホで住宅ローンの返済額を計算する手順ガイド。入力する各項目の意味と、結果が本当に示していることを理解できます。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: June 10, 2026 • ファイナンス

オンライン版: https://appstoryo.com/ja/blog/how-to-calculate-mortgage-payment-on-phone



スマホで住宅ローンの毎月返済額を計算する方法

銀行の窓口に足を運ぶ前、そして書類にサインする前に、自分の毎月返済額を把握しておくことは、住宅購入者にとって最も賢い行動のひとつです。信頼できるアプリを自分のスマホで使い、住宅ローンの返済額を計算する方法を自分で理解していれば、どの商談にも十分な知識と落ち着きをもって臨め、数字で驚かされることがなくなります。

このガイドでは、HypoNavi: Mortgage Calculator を使った計算の手順をひとつずつ説明します。iOSとAndroid向けの無料アプリで、完全にオフラインで動作します。インターネット接続は不要です。アカウント登録も必要ありません。

必要な入力項目

標準的な住宅ローン返済額の計算には、4つの基本的な数値が必要です。これらを正しく入力することが、正確な結果を得るうえで欠かせません。

1. 借入額（元金）

これは金融機関から実際に借り入れる金額であり、物件の購入価格ではありません。物件価格が4,000万円で、頭金を800万円（20%）入れる場合、借入額（元金）は3,200万円です。この数字をHypoNaviの借入額欄に入力します。

2. 年利

金融機関は年利をパーセントで提示します。たとえば6.75%です。提示された数値をそのまま入力してください。HypoNaviが計算のために内部で正しい月利へ換算します。自分で12で割ろうとしないでください。アプリが自動的に処理します。

3. 返済期間

これは住宅ローンの総返済期間で、通常は年数で表します。一般的なのは15年、20年、30年です。30年ローンは毎月の返済額が抑えられますが、返済期間全体で支払う利息の総額は大幅に増えます。15年ローンは毎月の負担が重くなる一方、資産形成が速く、利息を大きく節約できます。

4. 返済開始日

最初の返済日を入力します。HypoNaviはこの日付をもとに、実際の暦の月に対応した正確な返済予定表を作成します。返済期間全体を通じて、どの回の返済がどの月に当たるのかを正確に確認できます。

手順：HypoNaviで返済額を計算する

1. **HypoNavi**を開きます。iPhoneでもAndroidスマホでも構いません。アプリは住宅ローン計算画面に直接起動します。初期設定もサインインも読み込み画面もありません。
2. 借入額を入力します。元金（頭金を差し引いたあとの借入金額）を入力してください。
3. 年利を入力します。金融機関から提示された金利、または現在の市場環境をふまえた想定金利を使います。
4. 返済期間を設定します。15年、20年、30年から選ぶか、任意の年数を入力します。
5. 返済開始日を設定します。タップして最初の返済がいつ始まるかを選びます。
6. 結果を確認します。HypoNaviは毎月の返済額を即座に表示し、元金分と利息分に分けて示します。返済額の概要の下では、返済予定表の全体を1か月ずつスクロールして確認できます。

結果の意味を理解する

毎月の返済額＝元金＋利息

住宅ローンの返済額は2つの要素で構成されます。ローン残高を減らす部分（元金）と、借入のコストにあたる部分（利息）です。返済初期の数年間は、利息部分が元金部分よりはるかに大きくなります。これは前倒しで利息が重くなる返済構造と呼ばれるもので、まったく正常な状態です。時間の経過とともに残高が減るにつれ、利息部分は縮小し、元金部分が大きくなっていきます。

たとえば、3,200万円を年利6.75%、30年で借りた場合：

- 毎月の返済額：およそ20.8万円
- 初回の利息分：およそ18万円
- 初回の元金分：およそ2.8万円
- 180回目（15年目）ごろ：両者の比率がほぼ半々になります

返済予定表

HypoNaviで下にスクロールすると、返済予定表の全体が表示されます。各行が1か月分にあたり、返済額、そのうち利息に充てられる額、元金に充てられる額、そしてその返済後のローン残高が示されます。こ

の表は、返済期間全体で自分のお金が実際にどこへ向かっているのかを理解するうえで、最も強力な道具のひとつです。

利息の総支払額

予定表の末尾では、返済期間全体で支払う利息の総額をHypoNaviが表示します。多くの借り手にとって、この数字は衝撃的です。年利6.75%、30年、3,200万円の借入では、利息総額は4,270万円を超えます。つまり借りた額のほぼ2倍を支払うことになります。だからこそ、繰上返済や低金利での借り換えは数百万円単位の節約につながるのです。

いろいろな条件を試してみる

HypoNaviの優れた点のひとつは、入力値をすばやく変えて条件を比較できることです。次のような試算をしてみてください。

- 返済期間を30年から15年に変える。毎月の返済額が増える一方で、利息総額が劇的に減ることが分かります。
- 金利を1%下げる。わずか1ポイントの違いが、毎月の返済額と利息総額の両方にどれほど影響するかを確認できます。
- 借入額を500万円増やす。少し高い物件を買った場合の、毎月の実質的な負担を把握できます。

HypoNaviは完全にオフラインで動作するため、データがどこかへ送信される心配をせずに、こうした試算を自由に繰り返せます。計算内容は端末の中だけにとどまります。

銀行の計算ツールではなくHypoNaviを使う理由

銀行の住宅ローン計算ツールは便利ですが、プライバシーという代償を伴います。返済額を試算するためだけであっても、銀行のサイトに借入条件を入力すると、事前審査の勧誘やターゲティング広告、場合によっては提携金融機関へのデータ提供につながることがあります。

HypoNaviは純粋な計算ツールです。ネットワーク接続もアカウント機能も広告提携先もありません。必要なことをきっちり行い、それ以上のことは何もしない計算機です。

HypoNaviをダウンロードして今日から返済額を計算

HypoNaviはiOSでもAndroidでも無料でダウンロードできます。広告はなく、必須のアプリ内課金もなく、作成すべきアカウントもありません。

App StoreでHypoNaviをダウンロード — iPhoneとiPad向け

Google PlayでHypoNaviをダウンロード — Android向け

初めての住宅購入を計画している場合でも、借り換えを検討している場合でも、住宅ローンの返済額を計算する方法を自分で正確に知っていることは、人生で最大級の金融判断の主導権を自分の手に取り戻すことにつながります。HypoNaviを無料で使い始めましょう。

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). スマホで住宅ローンの毎月返済額を計算する方法. AppStoryo, lapnito.cz s.r.o.. https://appstoryo.com/ja/blog/how-to-calculate-mortgage-payment-on-phone

© 2026 lapnito.cz s.r.o.